

会報

○本号は、第七〇回学術大会紀要であるが、本号掲載の他に以下の研究発表があった。(発表順)

第三部会 対話と翻訳—リクルの翻訳論を手がかりにして—
(長谷川琢哉)

第四部会 ニーチェにおける「信仰」とその超克(木原英史)

第七部会 『正法眼蔵』『座禪箴』の考察—還源返本について—
(清藤久嗣)

第八部会 脊振山肥前側における宗教民俗—主に天台系寺院との関係から—(亀崎敦司)

発表を取り消したものは以下の通り。第二部会 ミルチャ・エリ阿德における「宗教」と「宗教学」(佐藤慎太郎)、第四部会 ユリアヌス帝の宗教政策における宗教地誌と「ヘレニズム」(中西恭子)、第六部会 不二一元論学派の仏教批判(佐竹正行)、『十地経』各地における結語部分について(平賀由美子)、第七部会 日本律宗の海東仏教認識について(福士慈稔)、第八部会 近世日蓮伝記本『本化高祖紀年録』における挿絵の特徴(望月真澄)、第九部会 岡田氏本『藤樹先生年譜』考(鈴木保實)、ヴェーバー文化発展理論と維新期の国家神道(池田昭)、第十三部会 苦しみの医療化(土田友章)、仏教とカウンセリング(友久久雄)

本大会の各部会名は以下の通りであった。

・九月三日

第一部会 宗教・災害・絆

第二部会 宗教学、宗教史学、宗教と政治

第三部会 宗教哲学とその関連①

第四部会 ヨーロッパにおける宗教と哲学①

第五部会 イスラーム、ユダヤ思想

第六部会 インド仏教

第七部会 浄土真宗

第八部会 日蓮系仏教、近代仏教

第九部会 日本思想、神道、新宗教①

第十部会 近代日本と宗教①

第十一部会 宗教と死者儀礼

第十二部会 世界の諸地域とキリスト教

第十三部会 宗教と医療、生命倫理

第十四部会 宗教とジェンダー

・九月四日

第一部会 宗教と社会

第二部会 宗教と教育

第三部会 宗教哲学とその関連②

第四部会 ヨーロッパにおける宗教と哲学②

第五部会 宗教経験、芸術、スピリチュアリティ

第六部会 中国仏教

第七部会 日本の仏教

第八部会	仏教・芸能・民俗
第九部会	日本思想、神道、新宗教②
第十部会	近代日本と宗教②
第十一部会	宗教と民俗
第十二部会	アジアの諸地域と宗教
第十三部会	宗教と科学、心理学
第十四部会	宗教と観光、巡礼

会員訃報

日本宗教学会名誉会員、早稲田大学名誉教授、楠山春樹先生は二〇一一年一〇月三〇日逝去されました。享年八九歳。
日本宗教学会名誉会員、九州大学名誉教授、伊原照蓮先生は二〇一二年一月二九日逝去されました。享年九一歳。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

報 告 会

二〇一二年度学術大会について

二〇一二年度学術大会プログラム委員会

二〇一二年度の日本宗教学会第七一回学術大会は、九月七日（金）～九日（日）に皇學館大学（三重県伊勢市）において開催されます。

本大会では大会テーマを特に設定いたしません、が、「ためされる宗教の公益」というテーマでシンポジウムを行う予定です。このテーマに関連して、震災復興と宗教の関わりや宗教と公益性、環境、祈り、宗教伝統などに焦点をあてたパネル発表や個人発表が多くあることを期待しています。

本大会における発表形式は、「個人発表」「パネル発表」の二種類です。

申込締切は五月二〇日、申込先は大会実行委員会です。

「個人発表」「パネル発表」の両方に申し込むことはできません。但し、パネルでの役割が「コメンテーターのみ」の方に限り、パネルの他に、個人発表への申込が可能です。

大会案内は四月下旬に発送し、第七一回学術大会のホームページにアップしますのでご利用下さい。

大会期間中の宿泊場所は、大会本部では斡旋いたしませんので、参加者個人でお願いいたします。

発表申込者の資格

以下の本学会員に限ります。

・名誉会員

・二〇一二年四月末日時点で、二〇一一年度の会費を納入済みの維持会員、普通会员

・二〇一二年四月一四日の理事会で入会を承認された普通会员

二〇一二年度からの変更点

・個人発表、パネル発表ともに

申込締切 五月二〇日必着

申込先 大会実行委員会

・パネル発表の募集要項は、大会案内に同封します。